


村山苑の[  いいね! ]を探そう  
キャンペーン 2016

キャンペーン 概要

- 対象 村山苑全職員
- 内容 仕事をしていて体験したり感じたりした、いいなあ、素敵だなあと思ったこと、ナイス!と思ったこと、心温まるエピソード、皆に伝えたいこと、プラスの気づき等を投稿
- 応募期間 2016.8.1~2016.11.30
- 応募数  29人が「いいね!」しました
- 選考 各事業所の選考委員による投票  
1票 10p + 1位得票 3p + 2位得票 2p + 3位得票 1p
- 表彰 2017.1.13
- 主催 社会福祉法人 村山苑

〒189-0024 東京都東村山市富士見町 2-7-5  
Tel:042-393-8496 Fax:042-397-4629  
<http://www.murayamaen.or.jp>

# 入賞作



Entry No.15 <63p 獲得>

「感謝…を伝えるということ」

ハトホーム在宅サービスセンター 名取 浩美

「いつもありがとねえ」

「あなたのお心遣いに感謝!! 感謝!!」

「いつも気遣ってくれてありがとう…」

と…トイレの付き添いや臥床の声掛けをする度に、手を合わせ、笑顔で私達に声を掛けてくれる方がいらっしゃいます。こんな…手を合わせてもらう事でもないこと…こちらも毎回、恐縮してしまいます。

毎日の生活がいつぱいいつぱいと、中々周りが見れず…やってもらうのが当たり前のようになってしまいがち…声を掛けてもらう度に、自分を見つめ直し、私も、30年先、40年先…お世話になった方に、気負いせず、さらっと感謝の言葉が伝えられるようになりたいと思っています。



Entry No.03 <62p 獲得>

「調理を自前で提供」

さつき荘 大野 宣子

私の「いいね！」は、全国的に調理業務が第三者へ委託されている施設が多くなっている中で、村山苑は、各施設ごとに調理員が配置されていることです。

経費削減を考慮すれば、委託もやむなしの時代になっているのかも知れませんが、やはり変更が必要な時など、すぐに対応していただけるし、利用者の声を身近に捉えることができるなど、自前調理の良さは言わずもがなです。

時代の流れに逆行してしまうかもしれませんが、今後も守り続けていけると嬉しいです。村山苑ガンバレ!!



Entry No.14 <36p 獲得>

### 「夏の朝の通勤風景」

ふじみ保育園 皆川 朋美

今日も暑くなりそうだなあと暑さにぐったりしそうな出勤前の時間。車を降り駐車場から歩いていくと、前の人が急に立ち止まりかがむと何かを手にとってそっと植え込みに置いていました。(小さなこがね虫だったと思います。)

植え込みの葉っぱから落ちないように少しずつ向きを変え、虫がちゃんと葉っぱに乗れるのを見守っていました。

声をかけると「車にひかれてもいけないから。」とおっしゃっていました。朝からやさしい気持ちになりました。

やさしい。。いいね。



Entry No.06 <35p 獲得>

### 「朝のお散歩」

さつき荘 稲村 文子

天気良くて風などない日の朝のお散歩が良いですね！

普段一人では外出など出来ない人達も職員付き添いで荘外一周するお散歩、外の景色を見ながら利用者と色んな会話をする。利用者も普段外に出られない分喜んで様子が見える。花の名前を教えたり、木の名前を教えたり、花や草は押し花にできるなど他愛のない話をすると昔のことを思い出して利用者も話してくれる。ほんの少しのコミュニケーションだが積み重なっていく事がいいなと思う。外に出られる事が気分転換になり、職員と話す事でストレス発散になればいいなと思う。



Entry No.21 <35p 獲得>

### 「人と関わるということ」

村山荘 鈴木 野生

村山荘に勤務して4年目になるが、出勤初日に職員の利用者に対する言葉遣いが丁寧だと感じた。村山苑に入社する前は都外の施設に勤めていたが、村山荘ほど言葉遣いが丁寧ではないと感じる施設もあった。

様々な場所において、他施設の職員の言葉遣いが耳につく。「トイレに行っておこうか」等、友人同士のような。「トイレに行きましょうか」にならないものか。外部の方と話す際は丁寧な対応になる。それは利用者に対しても同じでなければならない。

村山荘では、サービスマナーについて見直す機会を定期的に設けている。職員同士で言

葉遣いを注意しているところを目にすることもある。我々の仕事は多くの人との関わりを持つ。人と関わって人を支援していく。だからこそ、言葉遣いを大切にしなければならない。相手を敬う気持ちを忘れてはならない。それが人と関わるということ。

自分と同じものを周りも大事にしてくれている。村山荘がそういう職場で良かった。



Entry No.13 <34p 獲得>

### 「元氣なかけ声」 ふじみ保育園 角田 須美子

10月の誕生会の出し物に年長の担任が荒馬おどりをすることになり練習をしていました。荒馬おどりは子どもたちが運動会で踊っていたこともあり大人もより熱が入ります。

誕生会当日、最後の練習をしようとして少し早めに行くと「ラッセーラー ラッセーラー」と声が聞こえてきました。『え？もうみんな集まっているの？』と足を早めて向かうと、さつき荘の方たちのかけ声でした。私たちの息のあがったかけ声よりもとってもしずかで元氣なラッセーラ～でした。

機会があったら荒馬おどりを一緒におどりたいなぁと思いました。



Entry No.24 <特別審査員票獲得>

### 「"はじめて"がたくさん!!」 ほんちよう保育園 石井 敦子

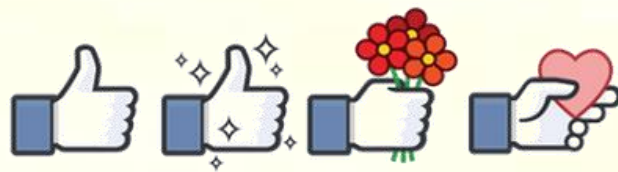
0才児クラスの担任をしていると、“はじめて〇〇できた”に、たくさん出合うことができます!!

- ・はじめて寝返りした!
- ・はじめて笑った!
- ・はじめてハイハイをした!
- ・はじめて立った!
- ・はじめて歩いた!
- ・はじめて「バイバイ」と手を振った!
- ・はじめて「パチパチ」と手をたたいた!
- ・はじめて「ワンワン」と言った!

など、数えきれないくらいの“はじめて”があります。

大きくなったら、できてあたりまえのことでも、はじめてできた時は、どれも嬉しい瞬間に…。

そんな“はじめて”に、たくさん出合うことのできるこの仕事。子どもたちから、たくさんの感動をもらっています。



The Campaign hosted by **MURAYAMAEN**